

# 埼玉トヨペット Green Brave



## 2019 RACE REPORT

【#68埼玉トヨペット GreenBrave GR SPORT マークX】

2019年4月27日(土)~28日(日)

ビリスーパー耐久シリーズ 2019

第2戦 SUGO スーパー耐久 3時間レース

スポーツランド SUGO(宮城県村田町)



### 決勝結果 (ST-3 クラス)

#68 埼玉トヨペット Green Brave  
GR SPORT マークX  
(服部尚貴/脇阪薫一/吉田広樹)  
決勝：2位  
(100周、3時間00分41秒086)  
予選：3位 (18番グリッド)

■■■■ 7位から怒涛の追い上げ。トップとわずか 0.069 秒差の 2 位 ■■■■

第2戦は土曜日に全クラスの予選と Gr.2 決勝、日曜日に Gr.1 決勝 (マーク X が出場) が行われる 2DAY レース。土曜日の予選はウェットで行われ、服部選手はウェットタイヤを装着してコースイン。7周目に1分40秒779のトップタイムをマークする。脇阪選手は難しい路面コンディションの中、ドライタイヤを装着してコースイン。6周目に1分32秒049をマークし、4位につける。脇阪選手は区間ベストを更新しながらアタックを続けるが、コース上にストップするクルマがあり、無念の赤旗終了。直近のタイムがベストとなり、合算タイム3分12秒828で予選3位となった。吉田選手は決勝を見据えたチェック走行を行い7位。

日曜日の天候は晴れ。スタートドライバーは服部選手で、1周目を4位で終える。3周目に2台を抜き2位。しかし、トップの#14 フェアレディZのペースが速く、2台の差は徐々に開き始める。9周目、コース上にストップするクルマがありFCY (フルコースイエロー) 導入。チームは10周目に服部選手をピットに戻し、吉田選手に交代。給油のみでコースに復帰する。FCYは12周目に解除され、吉田選手は2位を走行するが、26周目のホームストレートで左フロントタイヤがバースト! 幸いコースアウトは免れたが、1周にわたってスロー走行を強いられることになり、大きくロスしてしまう。ピットに入りフロントタイヤ2本を交換。ダメージを負ったフェンダー部を店舗メカニックが素早く修復し、最後尾の7位でコースに復帰する。吉田選手は43周目に#39 RC350を抜き6位。その後、上位のピットインもあり、3位まで順位を上げる。

57周目、最終コーナーでアクシデント発生。セーフティーカー (SC) が導入される。吉田選手は58周目にピットに入り、脇阪選手に交代。給油と4本すべてのタイヤを交換し、コースに復帰する。脇阪選手の順位は5位。SCは62周目に解除され、#15 フェアレディZを追うが、75周目にまたも最終コーナーでアクシデントが発生。この日2度目のSCが導入されるが、SCはタイミング良く脇阪選手の後ろに入り、上位との差を一気に縮めることに成功。トップの#38 RC350、2位の#14 フェアレディZの直後で周回を重ねる。

81周目にSC解除。脇阪選手は2台のフェアレディZに挟まれながら周回を重ねるが、84周目のヘアピンで#15 フェアレディZが脇阪選手のインにオーバースピード気味で飛び込み、2台は接触。脇阪選手はスピンしかけるが、なんとか持ち込める。幸いマークXに大きなダメージはなく、87周目に#34 RC350を抜き2位へ。脇阪選手のペースはトップの#38 RC350より速く、トップとの差をぐんぐん詰めていく。チェッカーまで残り2分となった98周目、ついにテールトゥノーズに。接触すれすれの激しい戦いは2周にわたって続き、バトルの行方に注目が集まるが、#38 RC350が先着。脇阪選手はわずか0.069秒差で2位となった。

第3戦 5月31日 (土) ~6月2日 (日)

富士スピードウェイ (静岡県・小山町)

DRIVERS VOICE



余分にピットに入り、その周もかなりロスしているから、それを考えると上出来だと思います。やっぱり菅生はすんなり終わらないですね。15号車のフェアレディZに飛ばされ、ロスした分、残念ながら前に行けなかったですが、しょうがないですね。クルマのハンドリングは悪くありません。(服部尚貴選手)

勝てなくて残念という気持ちもありますし、スタートしてからのいろいろあったので、良かったとも言えます。勝つためにやっているし、勝てるチャンスがあったので、残念という感想に尽きます。今回、埼玉トヨペットの方々が応援に来てくれたので、勝つところを見せたかったです。(脇阪薫一選手)

トラブルに見舞われたのにこの順位でゴールでき、チームの総合力や強さが出せたのではないかと思います。タイヤがバーストする前兆がわかっていれば、もうちょっと対応できたかもしれませんが、急なバーストでした。バーストは尽くせたいと思います。次の富士、2連覇しかありません。(吉田広樹選手)

MECHANIC VOICE

ペナルティが怖かったのですが、意外と落ち着いてできたのでひと安心です。1回目のピットインではバンクがらみで2本、そのあとのピットインでは4本交換しました。自分的には予選の方が緊張しましたね。決勝の方は出し切るだけで、落ち着いていた気がします。最後の追い上げも感動しました。  
(上尾支店・鈴木啓示)



ST-3 クラス決勝結果

順位	チーム	周回数
1位	ADVICS muta racing RC 350TWS(レクサス RC350)	100周
2位	埼玉トヨペット Green Brave GR SPORT マークX(トヨタ マークX)	100周
3位	岡部自動車 HIRIX ☆YAIMA ☆Z34(ニッサン フェアレディZ)	100周
4位	TECHNO FIRST RC350(レクサス RC350)	100周
5位	DENSO Le Beausset RC350(レクサス RC350)	99周
6位	5ZIGEN ADVICS RC350 TWS TRACY(レクサス RC350)	99周

天候:晴れ 路面:ドライ ※トップ6 まで(出走7台)

ST-3 クラスポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1位	38	TRACY SPORTS	44.5
2位	62	Le Beausset Motorsports	42.0
3位	68	埼玉トヨペット Green Brave	35.0
4位	14	OKABEJIDOSHA motorsport	29.0
5位	39	TRACY SPORTS	20.0
6位	15	TECHNO FIRST	18.0

※手動計算、完走ポイントをのぞく

埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社



赤城車体工業株式会社



株式会社アシスト・ワン



アルパインマーケティング株式会社



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



埼玉群スリーボンド株式会社



埼玉トヨペット陸送株式会社



株式会社テレビ埼玉



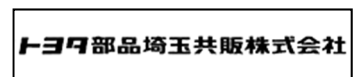
株式会社デンソーセールス



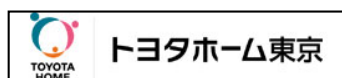
株式会社トイファクトリー  
インターナショナル



株式会社トヨタカスタマイジング  
& ディベロップメント



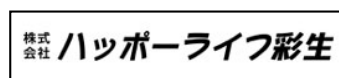
トヨタ部品埼玉共販株式会社



トヨタホーム東京株式会社



株式会社トヨタレンタリース新埼玉



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



株式会社プロモーション



丸和工業株式会社

※50音順